

# 平成29年度 事業報告

## 公益社団法人羽曳野市シルバー人材センター

平成29年度は、新たに事業を拡大するため、遊休農地を活用した貸農園事業、人手不足の介護分野での人材を育成する介護職員初任者研修事業、市と連携した空き家・空地の管理業務の事業開始準備を行った年でありました。

事業実績におきましては、契約金額は、請負部門 415,605,362 円(前年度比 1.0%減) 派遣部門 38,383,228 円(前年度比 88.8%増)全体で 20,512,020 円増(前年度比 4.7%)の実績を上げ、・就業実人員は、請負部門 771 名・就業率 88.2%、派遣部門 56 名・就業率 88.9%、全体で 827 名・就業率 94.6%と 6年連続 90%台を上げることができました。

本格的な少子高齢化・人口減少社会を迎える中で、高い就業意欲をもつ高齢者の知識・経験・能力を活かし、地域の労働力不足の担い手としての役割を果たすと共に就業機会の確保、社会参加の場の提供などを通じ、高齢者の生きがいの充実・生活の質の向上を図り、高齢者の就業ニーズに応えられる、公共の利益・サービスを担えるセンターとしての事業運営の多様化が求められています。

### 1. 事業実施状況

#### (1)就業開拓提供事業について

①市内事業所、自治会、公共施設等を訪問し、会員の希望職種や技能・資格等の人材リストを活用する等、就業機会開拓推進員による新たな就業機会の開拓・拡大を行うとともに既発注先を訪問し一層の利用拡大をお願いし、就業機会の拡大に努めました。

**(契約件数：請負 3,103 件・派遣：56 件) (開拓訪問件数 226 件)**

②電球や水道パッキンの交換、遺品整理の手伝い、不要家具等の搬出等、高齢者家庭へのサポートサービス事業をチラシ作成し、積極的に行いました。

③毎月、就業情報を発行し就業機会の提供を行いました。**(301号～312号)**

④「就業基準要綱」によるワークシェアリング・ローテーション就業の推進に努めました。

⑤発注者のニーズにより請負、職業紹介事業、一般労働者派遣事業など就業形態を提案し就業機会の拡大に努めました。

⑥介護予防・日常生活支援事業を受託し、女性会員の就業機会の拡大に努めました。

#### (2)普及啓発事業について

①センターの活動内容・事業趣旨等を幅広く普及させ、理解していただくため、リーフレット、パンフレット、会報「シルバー羽曳野」、ホームページ、市広報紙等を活用しPRしました。

②会員にひとり「一就業・一会員拡大」を呼びかけ事業の拡大に努めました。

③会員拡大推進員による広報活動等を行い会員拡大に努めました。

④「センター連絡所」・「家事援助利用相談所」を通じ、センターのシステムや事業内容等の普及に努めました。**(連絡所 36 か所・相談所 6 か所)**

⑤10月の普及啓発月間中に「シルバーの日」を設け清掃奉仕等を実施すると共に市主催のボランティア活動やイベントに協賛しPRしました。(清掃奉仕100名・石川クリーン作戦193名)

⑥事務局だよりを発行し情報提供を行いました。(319号～330号)

⑦会報「シルバー羽曳野」に事業PRを載せ、公共施設に配置するなど一般市民にセンターを理解していただけるよう努めました。(年2回発行、公共施設14か所に配置)

### (3)独自事業の実施について

①廃棄自転車のリサイクル販売、自転車修理店の運営、剪定枝チップ腐葉土製造販売、農作物の販売などの独自事業を実施しました。

②介護職員初任者研修講習会事業を実施するため、許可申請等準備作業を行いました。

③貸農園事業を実施するため、区画割等準備作業を行いました。

④会員の技能を生かせる独自事業を行い、会員の就業機会の確保に努めました。

### (4)研修・講習会事業について

①研修や技能講習等による会員の技能及び知識の向上に努めました。

### (5)調査研究事業について

①事業の拡充や円滑な運営を図るため、先進的な情報の収集を行いました。

②シルバー農園での苺の栽培販売のため、先進農園に視察調査を行ないました。

### (6)相談事業について

①入会説明会を開催し、会員拡大に努めました。(209名参加155名入会)

②毎月未就業者相談を行い円滑な就業機会の提供に努めました。(延86名相談)

③地区懇談会を開催し、会員・事務局・役員間のコミュニケーションの機会を作り意見の収集に努めました。(6校区3か所116名)

④女性就業拡大推進員による女性会員の職域拡大のため、就業相談等を行いました。

### (7)安全・適正就業推進事業について

①就業会員に市特定健康診査・後期高齢者健康診査の受診を呼びかけ、受診票の写しの提出をしてもらい、会員自らの健康チェックを呼びかけました。

②自転車利用の注意を呼びかけ、途上事故防止に努めるとともに自転車保険への加入を促しました。

③安全パトロールを実施し安全就業と健康管理について呼びかけました。(47件)

④就業に使う器具の自主点検、安全保護具の着用、自らの就業状態についての点検を呼びかけました。

⑤安全標語を募り事務局便りに掲載し、安全就業を呼びかけました。

(8名30首応募、12首選考)

⑥会報の紙面に健康や安全就業に関する記事を掲載しました。

⑦定期的に安全委員会を開催し安全対策について検討しました。

#### **(8)職業紹介事業について**

①法に基づく職業紹介事業を行いました。

#### **(9) 一般労働者派遣事業について**

①適正就業の推進等必要に応じ、臨時的・短期的な労働者派遣事業を行いました。

②労働者派遣事業での就業に関する知識の向上を図りました。

(派遣事業における入職時講習 40名、キャリアアップ講習 37名)

### **2. 自主運営体制の充実及び就業体制の強化について**

①担当部会を開催し各部門の事業について検討すると共に、部会間の連携を密にし、効率的な活動を行いました。

②近隣センターとの連携や調整を図り、広域的な就業機会の開拓・情報収集に努めました。

③会員の自主・自立的な就業・待遇・マナーなど、質の向上に努めました。

④全シ協・近シ協・大シ協・中部シ協の各協議会と連絡調整を行い、各研修会等に参加し相互研鑽に努めました。

⑤ 先進シルバー人材センターとの情報交換を行い事業の拡充に努めました。

### **3.参考資料**

①月別事業実績状況(別表 1 参照)

②年度別契約金額、会員数、就業実人員の推移(別表 2 参照)

③一般労働者派遣事業実績状況(別表 3 参照)

④年齢別・性別・就業希望職群別会員の状況(別表 4 参照)

